

専門研修プログラム名	袖ヶ浦さつき台病院連携施設 精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院	
プログラム統括責任者	菊池 周一	

本プログラムでは、患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各方面を総合的に考慮しつつ、近接領域の診療科やメディカルスタッフと協力して、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、専門医にふさわしい精神科医としての態度・技能・知識を高め、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、患者が安心して受診できる精神科医師の養成・育成を目的としています。当該施設群は袖ヶ浦さつき台病院が研修基幹病院となり、亀田総合病院と木更津病院を研修連携施設とした3施設で構成されており、毎年2名の専攻医を受け入れことができます。研修基幹病院である袖ヶ浦さつき台病院千葉県袖ヶ浦市にある準総合病院ですが、心療内科・精神科は218床を有し、主要な精神疾患の入院治療に広く対応可能です。研修連携病院の亀田総合病院は県内有数の総合病院で精神科入院病棟があり、より専門的で高度な身体的治療を要する身体合併症や多様なコンサルテーション・リエゾン症例を経験できます。木更津病院は地域精神科の中心的役割を担う精神科病院で急性期入院治療から療養型入院、外来治療を積極的に行い、老人施設、訪問看護とも密に連携を取っている病院です。本プログラムでは精神科臨床医の多くが将来、働くことになるであろう病院形態を研修期間中に経験できるようになっています。

当該施設群3病院で1年ずつ研修をします。**1年目：袖ヶ浦さつき台病院精神科** 研修指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害の患者等を受け持ち、良好な治療関係を築くための面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、リエゾン・コンサルテーション精神医学を経験します。アルコール依存症患者を中心とした依存症患者の診断・治療を経験します。面接によって情報を抽出し診断に結びつけるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学び、院内カンファレンスで発表します。**2年目：亀田総合病院精神科** 研修指導医の指導を受けつつ、より自律的に面接の仕方を深め、診断と治療計画策定の能力を充実させ、薬物療法の技法を向上を目指します。専門的な精神療法として認知行動療法と精神力動的 精神療法の基本的考え方と技法を学びます。慢性統合失調症患者等を対象とした心理社会的療法、精神科リハビリテーション・地域精神医療等を学びます。精神科救急に従事して対応の仕方を学びます。神経症性障害の診断・治療を経験します。院内のカンファレンスで発表し討論します。**3年目：木更津病院** 研修指導医から自立して診療できること目指します。診断と治療計画及び薬物療法の診療能力をさらに充実させるとともに、認知行動療法、精神力動的 精神療法について指導者による画像診断結果と照合し判読技術を高めることができます。心理検査は臨床心理士から専門的な指導を受けることができます。脳波検査は当院のてんかん専門医から判読を直接学ぶことができます。神経学的検査については専門医研修指導医の指導に加え、神経内科医から助言、指導を受けることもできます。**⑤ 薬物・身体療法**：クルスを通じて向精神薬の効果・副作用・薬理作用を習得し、精神症状および疾患に応じた適切な薬物を選択できるようにし、実際の症例で専門医研修指導医から指導を受ける。当院では修正型電気けいれん療法を行っており、適応の判断と治療の実際を習得できる。

① 患者および家族との面接：面接によって病歴を聴取し精神症状を抽出し診断に結びつけるとともに、患者および家族のニーズを多角的に把握し必要事項をわかりやすく説明することができ、良好な治療関係を構築・維持することを学ぶ。専門医研修指導医の講義を受けた後、診察に同席し面接技法を学ぶ。しかる後に単独で患者を診察し診療録に記載し専門医研修指導医の指導を受ける。② 疾患の概念と病態の理解：クルスで知識を再確認するとともに専門医研修指導医の指導の下、担当する症例を通じて疾患の概念と病態の理解を一層深めることができる。また、最新の情報を得るため学会参加や講演会への参加を奨励している。③ 診断と治療計画：入院治療では新規入院患者を入院時から退院時までを専門医研修指導医の密な指導の下、主治医として担当する。入院中には多職種と連携しチーム医療の実際を経験する。外来治療では予診を担当し、専門医研修指導医の本診察に同席する。こうした経験を積んだ後に単独で診察を行い、診断し治療計画を立て、その内容について専門医研修指導医から指導を受けることで自らの診断および入院の必要性を含めた治療計画の精度を高めていくことができる。④ 補助検査法（脳画像検査、心理検査、脳波検査、神経学的検査）：袖ヶ浦さつき台病院ではMRI検査およびCT検査、臨床心理士による心理検査、脳波検査のいずれも実施可能。当院には放射線科医師がおり、MRIおよびCT検査については専門医研修指導医の指導の下に読影のポイント学びつつ、放射線科医師による画像診断結果と照合し判読技術を高めることができる。心理検査は臨床心理士から専門的な指導を受けることができる。脳波検査は当院のてんかん専門医から判読を直接学ぶことができる。神経学的検査については専門医研修指導医の指導に加え、神経内科医から助言、指導を受けることもできる。⑤ 薬物・身体療法：クルスを通じて向精神薬の効果・副作用・薬理作用を習得し、精神症状および疾患に応じた適切な薬物を選択できるようにし、実際の症例で専門医研修指導医から指導を受ける。当院では修正型電気けいれん療法を行っており、適応の判断と治療の実際を習得できる。

⑥ 精神療法：専門医研修指導医の診察に同席するとともに指導医や臨床心理士からのスーパーバイズを受ける。病棟では集団療法や患者参加の集団ミーティングを毎週実施しており臨床心理士、看護師、精神保健福祉士、作業療法士らと共にチームを編成し集団療法や集団ミーティングの企画、実施について経験できる。⑦ 心理社会的療法、精神科リハビリテーション、および地域精神医療・保健・福祉：精神科リハビリテーションの治療場面に自ら参加する。当院では精神科デイ・ナイトケアおよび認知症デイケア、入院作業療法、入院集団療法を行っており治療チームに参加する。個別の心理療法については⑥に記載したように臨床心理士からのスーパーバイズを受けることもできる。当院精神科では地域の精神医療・保険・福祉にも積極的に関与しており地域の保健所、児童相談所、就学相談、知的障害者入所施設などに嘱託医を派遣している。こうした地域精神保健福祉医療の実際を見学することができる。⑧ 精神科救急：精神運動興奮状態や自殺の危険が高い患者への対応を専門医研修指導医と共に経験し単独で対応できたことを目標とする。当直については当院の精神科医がバックアップする体制を整えている。袖ヶ浦さつき台病院精神科は千葉県精神科救急システムにおける基幹病院になっており、精神科救急システムの活動を体験できる。⑨ リエゾン・コンサルテーション精神医学：袖ヶ浦さつき台病院は内科、外科、整形外科、リハビリテーション科の入院病床を有し、他科からの依頼に応じて精神医学的診断・治療、対応について学ぶ事例が豊富である。初めは専門医研修指導医と共に他科病棟に診察に出向き治療の実際を学ぶ。一定の経験を積んだ後は専門医研修指導医の指導を受けながら単独でリエゾン・コンサルテーションを行い経験を積む。⑩ 法と精神医学（精神保健福祉法、成年後見制度、心神喪失者等医療観察法、鑑定など）：クルスにて精神保健福祉法を学び、専門医研修指導医の指導の下、行動制限、措置診察、医療保護入院の診察に同席し理解を深める。成年後見制度の診断書依頼があった場合は、専門医研修指導医の指導の下で診断書を作成する。当院は医療観察法の鑑定入院を行うとともに指定通院医療機関である。また地域で必要とされるの精神鑑定の多くを引き受けており鑑定助手として鑑定書の作成ができる。⑪ 医の倫理（人権の尊重とインフォームドコンセント）：患者の人権の尊重とインフォームドコンセントに基づく診療ができるよう自らの姿勢で専門医研修指導医と医療安全について話し合う。さらに、患者および医療スタッフの安全を図るため院内に医療安全対策委員会が設置されており、診療上のインシデントおよびアクシデントの報告が全職員に義務づけられている。医療安全対策委員会ではインシデントおよびアクシデントの分析を行い再発防止のための情報が共有される。また院内に行動制限最小化委員会を設置し、適正な行動制限が行われているかを主治医以外の医療スタッフが評価する。薬物の副作用などについては薬剤師が直接患者から聞き取りを行い、副作用の予防、早期発見ができるようにしている。医療安全対策委員会および行動制限最小化委員会では年に複数回の院内研修会を開催し参加が義務づけられている。

各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得
指導医のもとで、入院患者および外来患者の主治医として多職種スタッフと連携し、治療を行い社会復帰を支援します。多職種カンファレンスは週1回定時に行うほか、症例に応じて随時開催しています。週1回院内コンサルテーション・院外（地域連携）からの精神科治療相談を担当します。週1回精神科カンファレンス（症例検討および勉強会）を行っていますので、自らの症例を提示して、病態と診断過程を理解し、治療計画作成の理論を学びます。週間スケジュールは別紙1の通り。

学問的姿勢
3年間の研修を通じて、1)自己研修とその態度、2)精神医療の基礎となる制度、3)チーム医療、4)情報開示に耐える医療について生涯にわたって学習し、自己研鑽に努める姿勢を修得します。本プログラム研修施設群には研究指導担当として非常勤で大学教官が在籍しているので日本語および英語での論文作成の指導ができます。

医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性
コアコンピテンシーは以下の能力を備えた精神科領域専門医になることです。1)患者や家族の苦悩を受け止める感性と共感する能力を有し、その問題点と病態を把握し、治療を含めた対策を立てることができる。2)患者・家族をはじめ多くの職種の人々とのコミュニケーション能力を有し専門性を発揮し協働することができる。3)根拠に基づき、適切で、説明のできる医療を行うことができる。4)臨床場面における困難に対し、自主的・積極的な態度で解決にあたり、患者から学ぶという謙虚な姿勢を備えている。5)高い倫理性を備えている。さらに**精神科領域専門医として以下の倫理性、社会性を修得します。**1)患者、家族のニーズを把握し、患者の人権に配慮した適切なインフォームドコンセントが行える。2) 病識のない患者に対して、人権を守る適切な倫理的、法的な対応ができる。3) 精神疾患に対するスティグマを払拭すべく社会的啓発活動を行う。4)多職種で構成されるチーム医療を実践し、チームの一員としてあるいはチームリーダーとして行動できる。5)他科と連携を図り、他の医療従事者との適切な関係を構築できる。6)医師としての責務を自立的に果たし信頼される。7)診療記録の適切な記載ができる。8)患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に貢献する。9)臨床現場から学ぶ技能と態度を習得する。10)学会活動・論文執筆を行い、医療の発展に寄与する。11)後進の教育・指導を行う。12)医療法規・制度を理解する。

	年次毎の研修計画	別紙を参照して下さい。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	研修施設群と研修プログラム	当該施設群は3施設からなり、研修基幹病院が袖ヶ浦さつき台病院、研修連携施設が亀田総合病院と木更津病院です。研修プログラムでは上述の専攻医の到達目標を修得するために指導医を中心として多職種で真摯に対応します。週間スケジュールおよび年間スケジュールはそれぞれ別紙を参照して下さい。研修基幹病院、袖ヶ浦さつき台病院精神科の2021年の症例数は以下の通りです。①統合失調症：入院243件/外来506件 ②気分（感情）障害：入院229件/外来1031件 ③精神作用物質による精神及び行動の障害：入院66件/外来157件 ④症状性を含む器質性精神障害（認知症、精神症状のないてんかん、睡眠障害を含む）：入院199件/外来474件 ⑤児童思春期精神障害（摂食障害を含む）：入院28件/外来357件 ⑥神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害（摂食障害を含む）：入院46件/外来657件 ⑦成人のパーソナリティと行動の障害：入院1件/外来5件 a. 精神科救急（救急車で受診および夜間休日受診）：46件 b. 行動制限：148件 c. 地域に関係した症例および合併症：45件 d. コンサルテーション、リエゾン：28件 e. 非自発的入院：360件 f. 外来：3,187件 研修施設、木更津病院の症例数 ①統合失調症：479件 ②気分（感情）障害：799件 ③精神作用物質による精神及び行動の障害：52件④症状性を含む器質性精神障害（認知症、精神症状のないてんかん、睡眠障害を含む）：114件 ⑤児童思春期精神障害（摂食障害を含む）：245件 ⑥神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害（摂食障害を含む）：485件 ⑦成人のパーソナリティと行動の障害：8件 a. 精神科救急（救急車で受診および夜間休日受診）：245件 b. 行動制限：275件 c. 地域に関係した症例および合併症：168件 d. コンサルテーション、リエゾン：162件 e. 非自発的入院：322件 f. 外来：4,512件
	地域医療について	本プログラム研修施設群はいずれも地域精神科医療の中心的な病院です。保健所、児童相談所、知的障害者（児）の入所施設などへの囑託医派遣および教育相談、就学指導委員会、特別支援学校、介護認定審査会などへの医師派遣を通じて地域の精神保健医療、教育分野にも貢献しています。
専門研修の評価	本プログラムでは1年ごとに研修施設を移りますので、各年度の終わりに専攻医は研修目標の達成度を自己評価します。その後、研修指導医が専攻医を評価してフィードバックし、研修指導責任者に報告します。研修指導責任者は当該施設の研修委員会に報告し、審議の結果を研修プログラム管理委員会に報告します。さらに、研修プログラム統括責任者は毎年度末に1年間のプログラムの進行状況と研修目標の達成度を確認し次年度の研修計画を作成し研修プログラム管理委員会に提出します。	
修了判定	専攻医と研修指導医が評価する研修項目表と多職種による評価、経験症例数リストを提出し、専攻医の到達目標が達成できているか研修プログラム管理委員会が評価し、研修プログラム統括責任者が最終的に判定します。	
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	研修基幹施設である袖ヶ浦さつき台病院に研修プログラムと専攻医を統括的に管理する研修プログラム管理委員会を設置し、研修プログラム統括責任者も置いています。研修プログラム管理委員会は研修プログラム統括責任者、各施設の研修指導責任者、研修施設管理者、研修指導医、研修に関する多職種（看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、病院事務職）で構成されています。研修カリキュラムの作成・運用・評価、個々の専攻医に対する研修計画の立案、研修の進捗状況の把握(年度毎の評価)、研修修了認定(専門医試験受験資格の判定)、研修施設・環境・指導体制の整備、学会・専門医機構との連携、情報収集、専門研修を開始した専攻医の把握と登録、サイトビジットへの対応などを行います。
	専攻医の就業環境	本プログラムの統括責任者と研修施設の管理者は、専攻医の勤務環境と健康に対する責任を負い、専攻医のために適切な労働環境の整備を行います。専攻医の心身の健康を配慮し、勤務時間は週32時間を基本とし、時間外勤務が月80時間を越えないよう、また過重な勤務にならないよう、適切な休日の保証と工夫を行うよう配慮します。当直業務と時間外診療業務の区別と、それぞれに対応した適切な対価の支給を行い、当直あるいは夜間時間外診療業務に対しての適切なバックアップ体制を整えます。各研修施設での待遇等は研修に支障のないように配慮し、専攻医の給与等は研修を行う施設で保障します。
	専門研修プログラムの改善	本プログラムの統括責任者と研修施設の管理者は、専攻医の勤務環境と健康に対する責任を負い、専攻医のために適切な労働環境の整備を行います。専攻医の心身の健康を配慮し、勤務時間は週32時間を基本とし、時間外勤務が月80時間を越えないよう、また過重な勤務にならないよう、適切な休日の保証と工夫を行うよう配慮します。当直業務と時間外診療業務の区別と、それぞれに対応した適切な対価の支給を行い、当直あるいは夜間時間外診療業務に対しての適切なバックアップ体制を整えます。各研修施設での待遇等は研修に支障のないように配慮し、専攻医の給与等は研修を行う施設で保障します。
	専攻医の採用と修了	専攻医であるための要件として①日本国の医師免許を有すること②初期研修を修了していること、とし、本プログラム研修施設群で採用を審議し認定します。年間2名を受け入れることができます。修了要件として、専攻医と研修指導医が評価する研修項目表と多職種による評価、経験症例数リストを提出し、専攻医の到達目標が達成できているか研修プログラム統括責任者が判定します。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	特定の理由(海外への留学や勤務、妊娠・出産・育児、病気療養、介護、管理職、災害被災など)のために専門研修が困難な場合は、申請により、専門研修を中断することができます。6ヶ月までの中断であれば、残りの期間に必要な症例等を埋め合わせることで、研修期間の延長を要しません。また、6か月以上の中断の後研修に復帰した場合でも、中断前の研修実績は、引き続き有効です。他のプログラムへの移動は精神科専門医制度委員会の承認が必要です。承認された場合、移動前の研修実績は引き続き有効です。
	研修に対するサイトビジット(訪問調査)	研修プログラムに対する外部からの監査・調査に対して、基幹施設および連携施設の責任者は真摯に対応します。日本専門医機構からのサイトビジットにあたっては、求められた研修関連の資料等を提出し、また、専攻医、指導医、施設関係者へのインタビューに応じ、サイトビジットによりプログラムの改善指導を受けた場合には、専門研修プログラム管理委員会が必要な改善を行います。
	専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。	1.菊池 周一(袖ヶ浦さつき台病院 病院長) 2.石毛 稔(袖ヶ浦さつき台病院 診療部顧問) 3.鈴木 均(袖ヶ浦さつき台病院 診療部長) 4.倉田 勉(袖ヶ浦さつき台病院 精神科研究部長) 5.大熊 孝裕(袖ヶ浦さつき台病院 精神科副部長) 6.小石川 比来(亀田総合病院 心療内科 精神科顧問) 7.小松 英樹(亀田総合病院 心療内科 精神科部長) 8.関根 博(木更津病院病院長)
Subspecialty領域との連続性	精神科領域ではサブスペシャリティ学会専門医制度は現在検討中と承知しております。本プログラム各施設に精神科スペシャリティをもった医師はおりますので制度が整い次第対応可能と考えております。	